

平成 29 年度拡大編集委員会 議事録

日 時	平成 29 年 9 月 22 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 00
場 所	パシフィコ横浜 会議センター 5F 512 号室
出席者	細萱茂実、村上正巳、池田勝義、石井良和、磯部和正、氏家真二、大久保滋夫、長田 誠、亀子光明、萱場広之、康 東天、静 怜子、 久 谷直人、千本松孝明、中山智祥、菱沼 昭、藤巻慎一、松原朱實、三島清司、三橋知明、宮下徹夫、行正信康、和田隆志 吉田 博・通山 薫 (倫理・COI 委員会)
欠席者	石井潤一、盛田俊介、山館周恒、横田浩充、阿部正樹、渭原 博、岡野芳幸、栢森裕三、澤部祐司、渋谷和俊、高木 康、竹越一博、長井 篤、永井正樹、南木 融、野村文夫、春木宏介、船渡忠男、松尾収二、
議 題	(1) 平成 28 年度拡大編集員会議事録の確認 (2) 会誌発行経過、進捗状況報告 (3) 第 24 回論文賞選考経過報告 (4) 利益相反(COI)自己申告書提出について (5) ご意見、ご要望など (6) その他

議 事 録

1. 報告事項、

定刻の 14 時 00 分、細萱茂実編集委員長が開会を宣し、続いて康 東天理事長がご挨拶された。

以下、細萱茂実編集委員長の司会のもと、議題に沿って進行した。

2. 会誌発行経過、進捗状況報告

- ① 資料 1 に基づいて、「JJCLA」Vol. 42-1~Vol. 42-5 についての発行経過および発行予定について説明・報告があった。また、Vol. 43-3 までの総説が既に届いている旨の報告があった。
- ② 資料 2 の掲載論文の内訳 (原著、技術論文などの本数) および資料 3 の査読結果の内訳について説明、報告した。
- ③ 資料 5 の総説執筆一覧表に関連して、総説原稿がは既に 43- 3 分まで届いている旨の報告があった。

3. 第 24 回論文賞選考報告

最初に、細萱茂実編集委員長から Vol. 41-1~Vol. 41-5 の論文について、採点にご協力頂いた編集委員に感謝の言葉を述べられ、以下の経過説明があった。

編集委員の採点で高い点数を得た上位 6 編の論文の中から、編集幹事で再審査して、最終的に下記 2 編を決定した経過 (結果的に編集委員の採点で高い点数を得た 2 論文に決定した) について説明し、理事会の承認を頂いた旨の報告あり、了承された。

- (1) 「蛋白質に特異性の高いニッケル-ビウレット法を用いる血清総蛋白の 2-point 法の考案」(JJCLA Vol. 41-No. 5)

工藤 思華 (埼玉県立大学大学院保健医療福祉学部健康開発学科)

- (2) 「特定健診における HbA1c 値の地区間差是正に向けた取り組み— HbA1c の測定法、遠心条件、サンプリング位置に関する問題点—」(JJCLA Vol. 41-No. 5)

嶋村眞由美 (玉名郡市医師会立玉名地域医療保健センター)

4. 利益相反(COI)申告書提出について

利益相反(COI)およびCOI申告書について、倫理・COI委員会の吉田 博委員長から、過日開催された委員会で決定した最終試案に基づいて、総則および細則について詳しい説明があった。「日本臨床検査自動化学会会誌(JJCLA) COI 申告書」については、論文投稿時のCOI開示は筆頭著者と責任著者に限定とすること、およびCOI開示期間、開示金額を一部修正することなどを確認した。最終的には理事会での決定に従い、来年4月以降の投稿論文から適用することを目指すこととした。

なお、COI開示は会誌だけでなく、本会の発行する「ガイドライン」などにも適用される。

5. ご意見、ご要望など

時間の都合もあり、特別な意見が出なかった。

6. その他

(1) 細萱委員長から、昨年の拡大編集委員会でご意見、ご要望のあった項目については、継続して検討している旨の報告があった。

(2) 理事長の了解を頂き、下記4名の先生に新たに編集委員に就任して頂くことにした旨の報告があった。

通山 薫 (川崎医科大学)

日高 洋 (大阪大学)

萩原三千男 (東京医科歯科大学医学部附属病院)

白井秀明 (横浜労災病院)

以 上